

# 営 農 情 報

令和4年5月6日発行  
第10号

## サイコセルPRO 今が打ち時！！

### 茎数に応じて倒伏軽減剤（植物成長調整剤）を施用しましょう！

現在の秋まき小麦は圃場間格差はあるものの、多くの圃場で幼穂形成期を迎え始めました。茎数に応じて倒伏軽減剤（植物成長調整剤）の施用を検討しましょう。

また、使用する薬剤に応じた散布適期を逃さぬよう注意しましょう。

#### ○倒伏軽減剤（植物成長調整剤）について

薬 剤 名	使 用 時 期	10a当たり		判断時期と茎数の目安
		薬量・倍率	散布水量	
サイコセルPRO	幼穂形成期	150～200mL	100L	幼穂形成期
	出穂前20～10日 小麦の草丈40～60cm	200～300mL	100L	節間伸長盛期 草丈40～60cm頃
カルタイム フロアブル	止葉期～出穂始期	150～200mL	100L	止葉期 草丈50～60cm頃
エスレル10	止葉期～出穂始期	300～500倍	100L	穂ばらみ期～出穂始 草丈70～80cm頃
		75～125倍	25L	

注1) サイコセルは高温時の散布で薬害が生じることがありますので、夕方に散布しましょう。

注2) 倒伏軽減剤（植物成長調整剤）は他の薬剤とは混用せず、重複散布にならないよう十分注意しましょう。

### 秋まき小麦の防除について

小麦連作圃場では眼紋病の発生が危惧されます。幼穂形成期から節間伸長期前半に適期を逃すことなく防除を実施しましょう。

#### ○眼紋病に効果のある薬剤について

薬 剤 名	使用時期	10a当たり		備 考
		処理濃度	散布液量	
ユニックス顆粒 水和剤47	幼穂形成期	500～700倍	100～150	連作圃場では必ず散布する。
カンタスドライ フロアブル		1500倍	60～150	

J A み ね の ぶ  
TEL 0126-67-2334

営 農 販 売 課  
FAX 0126-67-2803